

牧草地の更新と冬期粗飼料の自給

牧草収量は、造成2、3年をピークに減少します。草地の経年変化で土壌の状態が悪化し、雑草侵入が増え、植生が変化します。草地更新の目安の牧草被度と雑草被度の植生変化です。雑草被度10%以上で、草地更新を検討しましょう。

寒地型牧草の播種により、生草収量4~6t/10aの粗飼料が確保できます。

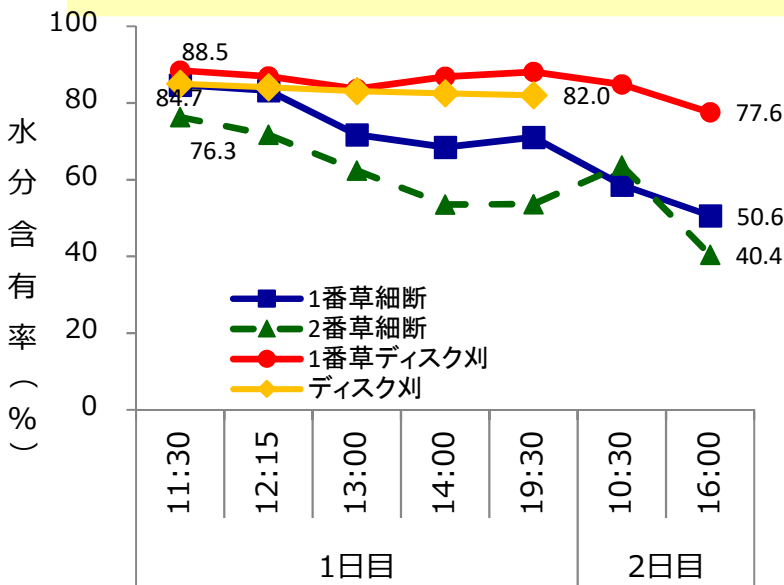


更新・栽培スケジュール(例)

	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
経年草地	草地更新						播種									施肥			草地更新								
										イタリアンライグラス			収穫			収穫						暖地型牧草					
経年草地	草地更新						播種									収穫			草地更新								
							エン麦															暖地型牧草					

冬期粗飼料の飼料調製

冬期粗飼料は、適切な飼料調製作業で、良質なサイレージになります



- 冬期牧草は高水分牧草です
- サイレージ調製の際は二日以上の予乾・反転が必要です
- 糖蜜や乳酸菌等の利用で、酪酸発酵を抑え、乳酸発酵が促進されます
- 給餌量は、飼料設計 (粗飼料と濃厚飼料のバランス) に配慮する必要があります



島らっきょう植付け後の 病害虫対策について



暑い中、島らっきょうの植付け作業お疲れ様でした。
植付け後は、畑を見回り病害虫の早期発見に努めましょう。被害の初期に発見することで効率的な防除ができ、良い品質に繋がります。

らっきょうの症状からよく出る病害虫を判断しましょう！



灰色かび病

葉に発生し、斑点型、斑紋型、葉先型の3つの病斑型があります。

斑点、斑紋型は病斑が拡大することはありません。葉先型は葉先から褐色になって枯れ込みます。薬剤防除は予防、発生初期の散布が効果が高いです。

アザミウマ

アザミウマが葉を吸汁すると葉の表面がかすれたように白くなり、多発すると葉にカールが生じます。

葉を白いトレーに打ち付けると黒や黄色の小さい虫がいるのでアザミウマの害だと判断できます。



○灰色かび病に使用できる農薬の例

薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
ダコニール1000	1000倍	収穫14日前まで	3回	予防
カンタスドライブフロアブル	1500倍	収穫前日まで	3回	予防＞治療
セイビアーフロアブル	1000倍	収穫前日まで	3回	予防
ロブルール水和剤	1000倍	収穫30日前まで	3回	予防＞治療

○アザミウマに使用できる農薬の例

薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
ディアナSC	2500-5000倍	収穫前日まで	3回	散布は2回
モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	収穫14日前まで	3回	
スピノエース顆粒水溶剤	2500倍	収穫3日前まで	3回	特裁利用可
スミチオン乳剤	1000倍	収穫7日前まで	2回	

※農薬の使用の際は必ずラベルの使用基準を確認しましょう。

※上記は令和5年9月末時点の登録情報です。

(担当：伊江村駐在 嘉数怜)

もとぐされびょう

サツマイモ基腐病に注意!!

2018年に国内で初めて確認されたかんしょの病気です。この病気がまん延すると、**収穫量が激減**します。本病は一度かんしょ畑に持ち込まれると、病原菌が定着し、栽培するたびに大きな被害を受けることになります。



◆主な症状 ※圃場で以下の症状がみられたら、お問い合わせ下さい!



葉の黄変
茎の基部の黒変



生育不良



地上部の枯れ上がり



芋の腐敗

◆秋植え圃場の12月~2月頃の主な対策

排水対策

排水不良な場所でまん延しやすいため、圃場排水対策を行いましょう。

発病株 野イモ の除去

発病株は早期に除去し、圃場外に持ち出して処分しましょう。発病株を残しておくと、大量の胞子が形成され、周辺株へ感染し、蔓延の原因となります。また、野良イモは、長期間圃場で生育することで、基腐病菌の伝染源となります。

殺菌剤 散布

生育初期は、定期的に**登録農薬を散布(茎葉処理)**しましょう。まとまった降雨の前と後の散布は感染防止や発病抑制効果が期待されます。

他にも

土壌処理剤

つる苗・種いもの殺菌処理剤

として使用できる農薬もあります!

農薬使用は、被害を軽減する対策の一つです。排水性改善、残渣処理、農機具や資材の洗浄等の物理的防除と併せて総合的な対策が重要です。

基腐病の対策のポイント、使用農薬等についてのご相談は、表紙右上に記載されている連絡先までお問い合わせ下さい。